
君愛し

桜咲 優莉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君愛し

【コード】

N1686J

【作者名】

桜咲 優莉

【あらすじ】

付き合っているって言う噂が後輩にも広がり始めた男の子と女の子のお話

(前書き)

この話は女の子視点 男の子視点 女の子視点 男の子視点で書いています

「長谷川先輩って佐竹先輩と付き合ってるんですか？」

今まで何回も聞いた質問。

とうとう後輩にまで広がり始めたのね…。

「否、そんな関係じゃないんだけどな…」

一つ下の後輩の永浜香乃ちゃんは

そう答えても訝しげな表情をしていた。

「本当ですか？」

「うん、本当」

何で噂って言うのは本人たちを無視して勝手に広まるんだろう…。

私と佐竹はそんな関係じゃない。

友達…？

否、そこまで低くない。

親友…？

否、ちょっと足りない。

心友…？

あ、これ結構しっくりくるかも。

「私と佐竹は単なる心友だよ…」

「そうですか……変なこと聞いてすみませんでした」
「あっ、別にいいよ」

香乃ちゃんはきつと佐竹の事が好きなんだろうな……。

「佐竹先輩って長谷川先輩と付き合ってるんすか？」

今まで何回も聞いた質問。

とうとう後輩にまで広がり始めたか……。

「否、そんな関係じゃないけど……」

一つ下の後輩の広坂啓一は

そう答えても訝しげな表情をしていた。

「本当っすか？」

「おう、本当だ」

何で噂ってものは本人たちを無視して勝手に広まるんだろうか……。

俺と長谷川ははそんな関係じゃねえ。

友達……？

否、そこまで低くないな。

親友……？

否、まだ足りねえな。

心友…？

あ、これ結構しつくりくるな。

「俺と長谷川は単なる心友だ…」

「そうですか…：変なこと聞いてすみませんでした」

「あつ、別にいーけど…」

広坂はきつと長谷川の事が好きなんだろうな…。

「今日さ、後輩に『佐竹先輩と付き合ってるの？』って聞かれちゃった」

「ああ偶然だな俺もだ」

「えつ、嘘?!すごい偶然!」

何て言いながら

いつもの様に2人で並んで帰っている。

「何かね、私たちって心の友と書いて心友じゃないかなって思う」

「それ、すげー合ってる」

だよね。なんて笑いながら言った。

でも心友だけじゃ少し足りない気がする…。

「今日さ、後輩に『佐竹先輩と付き合ってるの？』って聞かれちゃった」

「ああ偶然だな俺もだ」

「えっ、嘘?!すごい偶然!」

何て言いながら

いつもの様に2人で並んで帰っていた。

「何かね、私たちって心の友と書いて心友じゃないかなって思う」「それ、すげー合ってる」

だよ。って長谷川が笑って返してきた。

でも何かな、心友だけじゃ足りねえような気がするな…。

きつと私たちは

きつと俺たちは

心友よりずっと大事な存在。

(後書き)

実はこの2人両想い。

でもお互い今までずっと傍にいたから気づいていない。

そんな2人

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1686j/>

君愛し

2010年12月10日19時00分発行